

キャベツ (302号)

情報提供：神奈川県足柄上郡在住 S様 (28291) 2008年2月5日

スーパーERで5年間しっかりと土壌作りをおこなったことで、定植後に農薬を使わないで栽培ができました。「甘くて柔らかくて美味しい」と大好評で嬉しいです。

**特長**

- 前年は農薬を4回使用しましたが、今期は定植の際に殺虫剤を根元に1回だけ施しただけで、定植後には無農薬で栽培ができました。特に結球後は病気がほとんど発生しませんでした。
- 夏場には、蝶が飛んできても卵を産み付けませんでした。
- 1枚元葉が大変大きく、全体に粒ぞろいの元気なキャベツが出来ました。

**栽培地状況**

- 足柄平野の西部に位置し平坦な場所です。
- 野菜畑10アールのうちキャベツは4アール栽培しています。
- 農業生産物は、主に足柄梨、水稻です。

**施用状況**

<2007年度> 4アール

		日付	希釈倍率	施用量
種まき時期		8/ 3		
定植時期		9/ 3 ~ 10		
土壌灌水		6/20	1000倍	500ℓ
作物への 施用	1回目	9/25	1000倍	300ℓ
	2回目	10/5		
	3回目	11/11		

**生産者の声**

- 土壌作りに力を入れてきた結果、5年目で定植後からの無農薬栽培が実現しました。30年以上、同じ畑で栽培していますが、定植後に農薬を使わずに収穫できたのは初めてです。
- 発酵肥料に米ヌカを混ぜあわせ、プラスして配合肥料を施肥して土壌中耕し、その後、4アールに対して、スーパーER1000倍希釈液を500ℓたっぷりと灌水し、土壌改良を試みました。
- 作物への施用には噴霧器を使い、細かなキリ状になるようにして散布をしました。
- これからもスーパーERの使用を継続し、土壌発酵に力を入れ土壌改良をしていきます。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。